だいじょうぶ やさ こえ
「大丈夫ですか」の優しい声

Nguyen Thi Thuy Trang
(グエン ティ トウイ チャン)

しゅっしんち
出身地：ベトナム

ある日、私は自転車で学校に行く途中、学校から200メートルほど手前の交差点で、男性の車にぶつかってしまいました。交差点には「止まれ」と書いてありましたが、色々と考え事をしていたので、止まらずにそのまま通ってしまったからです。私は自転車から飛ばされて、自転車は後ろがすっかりへこんでしまいました。道路にかなり強く打たれて転んだので、その男性と通行人は何度も「大丈夫ですか？」と声をかけてくれました。私が「大したことはないです」と答えると、まわりの人は、私が我慢をしてうそをついていると思ったようです。

その時、ベトナム人の先生が通勤の途中で通りかかりました。前のカゴから投げ出されたかばんと一緒に拾いながら「チャン、痛いところはどこ？」「大丈夫？」と、声をかけてくれました。先生は、まるで私の母のようでした。先生が慰めてくれたので、気持ちが落ちつきました。私に付き添ってくれた人達は、仕事に遅れてしまったと思います。私は、自分では気が強いと思っていましたが、つらくて、子供のように声をあげて泣きたかったです。通行人が学校に連絡してくれて、警察にも色々質問されました。でも事故は突然だったので、転んだ時のことは恐怖で何も思い出せませんでした。車の運転手に謝り、先生たちに病院に連れて行ってもらったので、幸いにして軽傷ですみました。

私はたくさんの人に迷惑をかけてしまいました。その晩、「自分は、もう子供じゃない、だからこれは親に言えないな。親は離れて暮らしているから何もできないし、私のことを心配で寝られなくなるかもしれない」と考え、今も親にその話をしていません。

この経験を通じて多くのことを学びました。自分のちょっとした行動が他の人に迷惑をかけること。何かあったときは落ち着いて正直に対応して、周りの人に助けをもらうこと。そして、助けてくれた人たちに感謝する気持ちを忘れないようにしたいです。

大人になる過程では楽しいことだけではありません。学校では教えてもらえないことも、たくさんあります。ですが、様々な人と関わることで、一つ一つの試練を乗り越えられると思います。この出来事はずっと私の心に残るでしょう。